

多様な人材確保とものづくり技術の向上 により、あらゆる精密金属製品を実現

同社は、精密板金加工（切断、曲げ、溶接）、プレス金型製作、プレス加工、切削加工技術を保有し、試作から量産までものづくりのトータルサポートを行っている。また、新たな設備投資により、顧客のニーズに対応した設計・開発提案を推進し、複合機能を有する保有設備を活用して難加工材の加工等を自社で完結している。更に、2018年に選定された地域未来牽引企業としての意識を強く持ち、地域の事業者等に対する経済的波及効果を図り、地域の経済成長を牽引すべく積極的に活動している。

- 所在地 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1648-7
- 設立 1968年
- 電話/FAX 055-275-6644 / 055-275-5035
- 資本金 1,000万円
- URL <http://fuji-seiki.com/jp>
- 従業員数 89人
- 代表者 代表取締役 新藤 淳



担い手確保

新たな事業展開に向けた多様な人材の確保と職場環境の整備

現社長(2代目)は、平成19年に先代より事業を引き継ぎ、新たな事業展開に向けて、若者、女性、シニア、外国人等、多様な人材の採用に積極的に取り組んでいる。

そのために、本社工場以外にも東京神田に多様な人材採用に向けた拠点を設けている。更に、多様な人材の確保に終わらず、その人材が定着し、活躍できる職場環境の構築にも積極的に取り組んでいる。なお、同社女性初の溶接工として採用した社員は2児の母親であるが、有給休暇を取得する場合でも、子育てがしやすいようにと同じ部署の社員が譲り合ったり調整したりするなど仕事と子育ての両立を周囲が応援するような職場環境が整っている。



溶接で活躍する女性リーダー

社員が活躍できる環境と現場主義によるものづくり技術の向上

社内は少数チームで開発・製造にあたっているため、自分の考えやアイデアが実現しやすく、ひとりひとりが活躍できる環境づくりにも取り組んでいる。また、経営方針策定や新たな事業を立ち上げる際には、社員の意見にも十分耳を傾ける等、現場主義を実践する等により、若手の自立化も図っている。更に、職場環境に男女差がなく、女性も積極的に活躍できる雰囲気の中、従業員すべてがものづくり技術の向上に努められる環境を構築している。



サバイバルカプセル

外部機関の活用による技能向上とOJTによる技能継承

外部の人材養成講座やセミナー・シンポジウムを始め、山梨県が主導する燃料電池バレー創出に向けたプロジェクト等へ従業員が積極的に参加し、知識・技能向上に努めている。

一方、シニア人材が技術顧問・アドバイザーとして、効果的なOJTにより技能承継を行っている。



受け継がれてきた溶接技術

ものづくり